



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東  
 コード番号 7521 URL <https://www.musashinet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 山本 義明 TEL 03-3546-7710  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,180	△28.6	△185	—	△129	—	△106	—
2020年3月期第2四半期	19,851	12.7	1,127	—	1,153	—	899	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △47百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 786百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△14.38	—
2020年3月期第2四半期	120.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	40,524	27,045	66.7
2020年3月期	42,905	27,203	63.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 27,045百万円 2020年3月期 27,203百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	15.00	35.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,481	△13.6	182	△82.2	262	△78.7	140	△83.8	18.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,950,000株	2020年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	566,609株	2020年3月期	566,609株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,383,391株	2020年3月期2Q	7,443,403株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動が大幅に制限され、急速に景気の減速が進みました。緊急事態宣言の解除により、経済活動は段階的に再開されたものの、再び全国的に感染拡大の兆候が広がり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

#### (情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、文書のデジタル化事業については、デジタル化作業現場での新型コロナウイルス感染防止対策による業務停止や作業効率低下などの影響を受けましたが、官公庁・自治体及び民間企業からの受注が伸長し概ね順調に推移いたしました。また、業務用ろ過フィルターの販売については、飲食業の休業により飲料需要の減少影響を受けました。

印刷システム機材は、各種イベントの中止や店舗の営業自粛等により商業印刷物の需要が減少し、印刷材料の販売が落ち込みました。また、印刷会社の設備投資意欲の減退により、印刷機器の販売にも影響がありました。

#### (金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、貨幣処理機器の販売が金融機関などの設備投資抑制の影響により落ち込みました。

選挙システム機材は、東京都知事選挙をはじめ全国の地方選挙に向け、投票用紙交付機や読取分類機などの機器のほか、投開票管理システムの販売が順調に推移いたしました。

#### (紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、医薬品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞により、印刷用紙や感圧紙を含む情報用紙の販売が需要縮小の影響を受けました。

#### (不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高141億80百万円（前年同期比28.6%減）、営業損失1億85百万円（前年同期は営業利益11億27百万円）、経常損失1億29百万円（前年同期は経常利益11億53百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億6百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億99百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は302億18百万円となり、前連結会計年度末より25億91百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、受取手形及び売掛金の減少（13億58百万円）及び現金及び預金の減少（12億57百万円）であります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は103億5百万円となり、前連結会計年度末より2億10百万円増加いたしました。

増加の主な要因は、時価の上昇による投資有価証券の増加（94百万円）であります。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は115億70百万円となり、前連結会計年度末より21億98百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（7億78百万円）、電子記録債務の減少（7億11百万円）及び流動負債の「その他」の減少（4億49百万円）であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は19億7百万円となり、前連結会計年度末より25百万円減少いたしました。

減少の主な要因は、退職給付に係る負債の減少(10百万円)であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は270億45百万円となり、前連結会計年度末より1億57百万円減少いたしました。

減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失1億6百万円及び剰余金の配当1億10百万円。増加の要因は、その他有価証券評価差額金の増加(69百万円)であります。

この結果、自己資本比率は66.7%(前連結会計年度末は63.4%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は前連結会計年度末に比べ14億52百万円減少し、178億32百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は9億44百万円となりました。(前年同期は25億58百万円の資金獲得)

これは、税金等調整前四半期純損失1億29百万円、仕入債務の減少15億8百万円、たな卸資産の増加1億16百万円及び法人税等の支払額2億58百万円等の支出要因がありましたが、売上債権の減少14億52百万円等の収入要因により相殺されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億97百万円となりました。(前年同期は7億88百万円の資金使用)

これは、主に定期預金の預入による支出2億円、有形固定資産の取得による支出89百万円及び無形固定資産の取得による支出73百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億10百万円となりました。(前年同期は89百万円の資金使用)

これは、配当金の支払1億10百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,180	18,922
受取手形及び売掛金	9,319	7,961
商品及び製品	2,442	2,454
仕掛品	69	94
原材料及び貯蔵品	429	508
その他	404	306
貸倒引当金	△36	△29
流動資産合計	32,809	30,218
固定資産		
有形固定資産	3,647	3,608
無形固定資産	409	452
投資その他の資産	6,038	6,244
固定資産合計	10,095	10,305
資産合計	42,905	40,524
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,073	4,295
電子記録債務	3,397	2,686
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	291	73
賞与引当金	413	372
その他	1,076	626
流動負債合計	13,768	11,570
固定負債		
退職給付に係る負債	224	214
役員退職慰労引当金	971	964
その他	736	728
固定負債合計	1,932	1,907
負債合計	15,701	13,478
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	24,818	24,601
自己株式	△696	△696
株主資本合計	27,335	27,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	37
退職給付に係る調整累計額	△99	△110
その他の包括利益累計額合計	△132	△73
純資産合計	27,203	27,045
負債純資産合計	42,905	40,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	19,851	14,180
売上原価	14,823	10,979
売上総利益	5,027	3,201
販売費及び一般管理費	3,899	3,386
営業利益又は営業損失(△)	1,127	△185
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	24	23
持分法による投資利益	12	3
貸倒引当金戻入額	0	0
その他	24	45
営業外収益合計	64	73
営業外費用		
支払利息	16	16
貸倒引当金繰入額	7	—
退職給付費用	11	—
その他	2	1
営業外費用合計	38	18
経常利益又は経常損失(△)	1,153	△129
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	1,153	△129
法人税、住民税及び事業税	212	53
法人税等調整額	41	△77
法人税等合計	254	△23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	899	△106
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	899	△106

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	899	△106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87	69
退職給付に係る調整額	△25	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△112	59
四半期包括利益	786	△47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786	△47



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,153	△129
減価償却費	161	156
のれん償却額	47	36
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	△102
賞与引当金の増減額(△は減少)	△24	△40
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	△10
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△4	△29
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△473	△6
受取利息及び受取配当金	△26	△24
支払利息	16	16
為替差損益(△は益)	1	△0
持分法による投資損益(△は益)	△12	△3
売上債権の増減額(△は増加)	2,093	1,452
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3	△116
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△10	108
仕入債務の増減額(△は減少)	△733	△1,508
未払金の増減額(△は減少)	38	△37
その他の流動負債の増減額(△は減少)	334	△454
その他	11	2
小計	2,565	△693
利息及び配当金の受取額	26	24
利息の支払額	△17	△16
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△16	△258
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,558	△944
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5	△200
定期預金の払戻による収入	—	5
有形固定資産の取得による支出	△602	△89
有形固定資産の売却による収入	5	2
無形固定資産の取得による支出	△64	△73
投資有価証券の取得による支出	△5	△3
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	17	0
事業譲受による支出	△95	—
その他	△38	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△788	△397
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△89	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89	△110
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,679	△1,452
現金及び現金同等物の期首残高	17,857	19,285
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,537	17,832

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

第1四半期連結会計期間の四半期報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,959	4,858	4,904	128	19,851	—	19,851
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	85	59	—	141	286	△286	—
計	10,045	4,917	4,904	270	20,138	△286	19,851
セグメント利益又は損 失(△)	△178	1,256	△29	77	1,126	1	1,127

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	8,289	1,732	4,023	135	14,180	—	14,180
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	—	—	150	151	△151	—
計	8,289	1,732	4,023	286	14,331	△151	14,180
セグメント利益又は損 失(△)	△110	△81	△78	84	△186	1	△185

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。